

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 438 (通算 770 回)

2022年7月26日(火)

今、何を、どのように、法人・大学の責務 — ハラスメント法制の強化とキャンパス対応の深化

～ ダイバーシティキャンパスを拓く／制度・体制の総点検 ～

- ※ 近年の事案・裁判例／パワハラ防止法完全施行／法人・大学の法的責任／対応・調査・処分の留意点
- ※ 性的指向・性自認 (SOG I) とは／カミングアウトを巡る課題とアウティング被害／実務対応
- ※ [南山学園]「問題」の多様化／制度・体制の刷新～大学から学園全体へ／具体的な作業／今後へ
- ※ [筑波大] SOGI 及びLGBTQ支援／基本理念と対応ガイドライン／“DAC”と具体的な取組み

● 講師陣 ●

- 早田由布子 氏 / 旬報法律事務所 弁護士
 神谷 悠一 氏 / (一社) LGBT法連合会 事務局長
 平林 美紀 氏 / 南山大学 大学院法務研究科 教授 【オンラインでのご出講】
 (学) 南山学園ハラスメント問題対策委員会 ハラスメント相談室 専門アドバイザー
 前 南山大学 ハラスメント問題対策委員会 委員長
 河野 禎之 氏 / (国) 筑波大学 人間系 障害科学域 助教
 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター
 大学ダイバーシティ・アライアンス (UDA) 発起人

【企画協力】 学校法人 城西大学

2022年7月26日(火)城西大学 東京紀尾井町キャンパス (東京・麹町) & オンライン

 地域科学研究会
 高等教育情報センター

日時：2022年7月26日(火) 10:00 ~ 16:50

会場：城西大学 東京紀尾井町キャンパス 3号棟

国際会議場 (東京・麹町) 東京都千代田区平河町 2-3-20

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩5分

東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口より徒歩7分

※返信メールの送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代込) 42,000円(税込)

B. メディア参加(資料・音声CD送付) 45,000円(送料、税込)

C. 高等教育同人(☆) 22,000円(税込)

※ 「オンライン当日参加」は、ウェブ会議システム「Zoom(ズーム)」を使用予定です。

※ メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録したCDを送付します。

※ 当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、「別途CD代」をご案内いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。

(※参加申込みの折は、必ず下記事項をご記入の上、FAXかE-mailにてお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 438

(該当する□に✓印を)

年 月 日

ハラスメント法制の強化とキャンパス対応の深化

当日会場参加 オンライン当日参加 メディア参加

支払方法 当日払い 銀行振込
必要書類 請求書 見積書 領収書

勤務先 _____

所在地 (〒 _____)

(請求書等記載の宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス (※返信いたしますので、必ずご記入願います)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ～ 11:50	<p>□ ハラスメントにおける大学の法的責任と実務対応 ～関連法令の強化/公益通報保護/調査・処分の留意～</p> <p style="text-align: right;">旬報法律事務所 早田由布子</p> <p>1. 最近のハラスメント事案・裁判例の特徴 (1) パワハラ事案の特徴—特にメンタルヘルスに関連して (2) セクハラ事案の特徴—特に被害者の同意の認定について</p> <p>2. ハラスメント関連の法令強化 (1) いわゆる「パワハラ防止法」の完全施行 (2) セクハラ、マタハラ防止義務の強化</p> <p>3. 法人・大学の法的責任と体制整備 (1) 法人はどのような法的責任を負うか—教職員の場合、学生の場合 (2) 具体的な義務内容 (3) 改正公益通報者保護法への対応 (4) どのようなハラスメント防止体制を整備すべきか</p> <p>4. 学内における対応・調査・処分の留意点 (1) ハラスメント被害者に対する対応の留意点 (2) ハラスメント事案における事実認定の特徴 (3) 処分その他対応の留意点</p> <p>5. 裁判はどのように進行するのか ～訴訟に至らないために～</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
12:00 ～ 13:00	<p>□ SOGIハラスメントの法制と実務対応 ～多様な性・LGBTQのキャンパスを拓く～</p> <p style="text-align: right;">(一社) LGBTQ法連合会 神谷 悠一</p> <p>1. 性的指向・性自認(SOGI)に関する基礎知識 (1) 性的指向・性自認(SOGI)と性的マイノリティ (2) 「科学」を巡るよくある勘違い (3) 性的指向・性自認(SOGI)概念の射程</p> <p>2. 性的指向・性自認(SOGI)に関する困難とその特徴 (1) 教育・就労分野における困難 (2) カミングアウトを巡る課題 (3) カミングアウトしない/できない場合の困難 (4) カミングアウトとアウトティング被害について</p> <p>3. ハラスメント法制と性的指向・性自認 (1) 労働施策総合推進法と指針が求めていること (2) 大学における取り組みの課題 (3) 関連する事件や事例 (4) アウティング被害への事後対応のポイント (5) その他(履歴書や自治体条例への対応等について)</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 ～ 15:20	<p>□ [南山学園] ハラスメント対策の制度・体制の刷新 ～大学から学園全体へ、相談室の設置と申立て制度の導入～</p> <p style="text-align: right;">〈オンラインでのご出講〉 南山大学 平林 美紀</p> <p>1. 見直しのきっかけ・方向性の決定 (1) はじまりは「南山大学セクシュアル・ハラスメント問題対策委員会」 (2) 「ハラスメント問題」の多様化と対策委員会における危機意識の高まり (3) 学園(学校法人)からの働きかけ～3キャンパス・9運営単位・12設置校 (4) ハラスメント相談体制見直しのためのWG</p> <p>2. 見直しのための具体的な作業 (1) 専門相談員の確保 (2) 相談室/対策委員会の運営方法等に関する検討 (3) ガイドライン・規程類の改訂 (4) ホームページ等の作成 (5) 対策委員の選出と役割分担 (6) 大学と他運営単位との連携 (7) その他</p> <p>3. 今後の課題 (1) 広報活動・啓発活動・担い手のスキルアップ (2) 相談室の運営方法に関する随時の見直し (3) 対策委員会への期待と懸念 (4) 各運営単位校の実態に即した役割分担と連携の模索</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 ～ 16:50	<p>□ [筑波大] 大学におけるSOGI及びLGBTQ支援の意義と現状 ～筑波大学の歩みをもとに～</p> <p style="text-align: right;">(国) 筑波大学 河野 禎之</p> <p>1. SOGI及びLGBTQを巡る大学と社会の状況 (1) 社会情勢の概況 (2) 初等中等教育を巡る概況 (3) 高等教育を巡る概況</p> <p>2. 大学におけるSOGI及びLGBTQ支援の意義 (1) 大学における支援の意義 (2) 筑波大学の基本理念と対応ガイドラインの作成経緯 (3) 筑波大学の基本理念と対応ガイドラインの意義と留意点</p> <p>3. 大学におけるSOGI及びLGBTQ支援の現状と課題 (1) 筑波大学の対応ガイドラインから考える支援の現状 (2) 筑波大学の対応ガイドラインから考える支援の課題 (3) 課題解決に向けた新しいアクション</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>